

LINE マイ・タイムライン普及啓発業務  
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和6年3月22日 11時25分から11時55分まで 13時00分から13時30分まで
2	場 所	県庁北館4階 危機管理センター
3	出席委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理監危機管理部長（委員長）</li> <li>・危機管理監危機管理課長</li> <li>・危機管理監みんなで減災推進課長</li> <li>・危機管理監消防保安課長</li> <li>・総務局広報課職員（デジタル・ディレクター）</li> </ul>
4	議 題	LINE マイ・タイムライン普及啓発業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	危機管理監みんなで減災推進課
6	開催方法	参集（W e b 併用）
7	議事内容	<p>1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査対象者（提案書提出順） A社 株式会社中国新聞社 B社 H F G 代表企業：株式会社ヒロコー 構成企業：株式会社ギフトパッド、株式会社フラッグ</p> <p>3 主な質問・確認事項 (A社)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値へのシミュレーションの内訳</li> <li>・広報のターゲットとなる年齢層</li> <li>・広報開始時期の前倒し</li> </ul> (B社)  <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログ広報のシミュレーション</li> <li>・ポイントを付与する仕組み</li> <li>・見積書に係る内訳</li> </ul> </p>

	<p>4 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者の評価値 審査対象の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(2) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p>ア 最優秀提案者：H F G 代表企業：株式会社ヒロコー 構成企業：株式会社ギフトパッド、株式会社フラッグ</p> <p>イ 選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ これまでに実施した事業の実績に基づいた提案となっている。</li><li>・ 過去の実績を基にした広報手法など、具体的な提案がなされている。</li></ul>
--	--